回覧

月刊 四万十町 11月号

2026 november

地域おこし協力隊だより

大正（地域振興局）
道の駅「四万十大正」の運営サポート

チャレンジの二年目

中平　征希
Nakahira Motoki





新商品の栗万十

去年より秋らしい気温で過ごしやすい季節になってきたなと感じます。前回の自分の記事でも書きましたが早くも協力隊として二年目になり改めて時間の経過の速さに驚いています。

九月二十六日、二十七日は「しまんと栗まつり」が道の駅四万十とおわで開催され、道の駅四万十大正は二日目に出店してきました。栗がテーマのイベントだったので今回は出店販売しているマントウの生地やあんこに栗をふんだんに使った「栗万十」を作りました。生地に練りこむために生栗を乾燥させ粉末機で粉末にしたり、あんこと合わせるために甘露煮にしたりと初めての挑戦も多かったですが、多くの方に手に取っていただき無事完売することができました。当日は雷も鳴るあいにくの天気の中、たくさんの方が来場され大変にぎわっていました。

さて、次は何を作ろうかなと考えていたら、ふと実家の畑で春から栽培しているバジルの事を思い出しこれで何か作れないかなと、とりあえずバジルソースにしてみました。ピザのソースやパスタに絡めたりする以外の使い方やソースに使う材料の配合を変えたりアレンジなどいろいろと挑戦してみようかなと思います。気温も下がりバジルも来年に向け種が付き始めているのでその種からまた育てていく楽しみも感じながら新しいことにチャレンジしていこうと思います。



栽培中のバジル



津波古　樹生
Tsuhako Tatsuki

二年目の稲刈りと成長

窪川（本庁）
新規就農者支援及び自身の将来的な四万十町での就農



収穫した黄金色の籾

地域おこし協力隊として着任して二年目を迎え、四万十町へ移住してから二回目を迎える実りの秋の稲刈り時期が巡ってきました。目の前に広がる田んぼには黄金色に輝く稲穂が一面に実り、今年も無事に豊作の秋を迎えられた喜びに胸がいっぱいになります。

昨年は初めてコンバインの操縦に挑戦したものの、まっすぐ進むことすらなかなか上手くいかず、操作の難しさに終始苦戦したことを今でも鮮明に覚えています。

機械の扱いに手一杯で周囲を見渡す余裕も全くありませんでしたが、今年も昨年同様に地域の農家の方々に温かいご指導や励ましの助言をいただき、落ち着いて慎重に作業を進めることができました。昨年と比べて格段にスムーズに刈り取ることができ、少しずつではありますが自身の確かな前進と技術の向上を実感しています。

さらに今回は、協力隊の有志のメンバーたちも駆けつけてくれ、皆で力を合わせて稲刈りに励みました。慣れない農作業に共に汗を流しながら、互いに声を掛け合い、コンバインからたくさんの籾がトラックの荷台へと勢いよく運び込まれていく光景はとても感慨深く、大変強い充実感と達成感に満ちた一日となりました。来年度は協力隊として最後の稲刈りとなるので、三年間の集大成として自分なりに楽しみながら農業と向き合っていきたいです。



コンバインでの収穫



卒業

片岡　宏樹
Kataoka Hiroki

これからも四万十町で

窪川（本庁）
しまんとリバーストア運営

十一月末で三年間の任期を終え、地域おこし協力隊を卒業することになりました。令和五年十二月の着任以来、四万十町の特産品を全国へお届けする産直サイト「しまんとリバーストア」の運営に取り組んでまいりました。

当初は様々な困難もありましたが、生産者や事業者の皆様のご協力のおかげで、今では六十五社以上、約三百五十の商品を取り扱うまでになりました。令和八年四月には「一般社団法人しまんとリバーストア」として新たなスタートを切り、十月には初めて県外のイベントに出店し、東京と大阪で四万十町の産品をお客様へ直接お届けすることもできました。

ここまで歩んでこられたのは、温かく迎えてくださった生産者・事業者の皆様や町民の皆様、そして支えていただいた四万十町役場の皆様、共に活動してきた隊員の仲間のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。


ポスターとチラシ

卒業後も四万十町に残り、しまんとリバーストアの運営に引き続き携わります。協力隊の三年間で得た経験と人とのつながりを生かし、特産品という「モノ」だけでなく、体験などの「コト」も通じて町の魅力を全国へ届けていきます。今度は自分が、いただいたご恩を町へ返していく番だと考えています。

三年間、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。


初の県外出店

株式会社しまんとドラマ
地域資源流通促進

栗の季節を迎えて

兜岩　知也
Kabutoiwa Tomoya



九月二十六日、二十七日に道の駅四万十とおわで開催された「しまんと栗まつり」。準備段階からデザインに関わらせていただきました。着任して初めて迎える栗の季節。話には聞いていましたが、実際は驚くことばかりでした。

九月に入ると、四万十ドラマの事務所には毎日のように栗が集まり、どこを見ても栗、栗、栗。その量にも圧倒されましたが、何より一粒一粒が大きいこと。初めて見たときは思わず「でかっ！」と声が出ました。事務所もいつもより慌ただしく、栗の季節を実感しました。

栗まつりの当日は、あいにくのお天気。せっかくなら晴れてほしかったなと思いましたが、それでも栗を買い求めてたくさんの方が訪れていました。新栗を楽しみにする人の多さも印象的でした。


続々と集まる栗

以前は、関西のお茶の産地に住んでいました。場所も品物も違いますが、その土地の旬には、どこも同じように忙しく、活気にあふれるものなのだと感じました。

普段はデザインを通して商品の魅力を伝える仕事をしていますが、地域の季節の移り変わりや、そこで働く人たちの姿を間近で見ることも大切だと思いました。四万十町に来て半年。季節ごとの仕事や地域の皆さんとの出会いを通して、少しずつこの土地のことを知っていけるのが楽しみです。これからも自分にできることを積み重ねていきたいと思います。

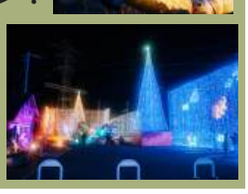


しまんと栗まつり

11月のお知らせ！

冬のお楽しみ、 始まっています！
四万十町の冬を彩る水車亭のイルミネーション！
今年も点灯が始まりました！
2027 年 1 月 15 日（金）まで
ライトアップされているようです！
キラキラと輝く光のトンネルをくぐって、
冬の訪れを感じてみませんか？





Instagram　Facebook　大正駅前にぎわい拠点　四万十町公式 note

四万十町役場　にぎわい創出課
Tel: 0880-22-3281
Mail:103050@town.shimanto.lg.jp
Address: 四万十町琴平町 16 番 17 号（西庁舎 2F）